実務実習における在宅医療

実務実習委員会

宮﨑陽江

【目的】実習期間中、同じ在宅患者を複数回担当し、早期から在宅訪問を体験し、実習生の行動や考え方の変化を確認する。多職種で支えるチーム医療・生活支援について理解を深める。

【方法】当薬局では、在宅患者（施設含む）月20件程度、訪問回数月40回程度行っている。実習開始第一週より、在宅医療に関わり、同じ在宅患者を複数回担当した。

【結果・考察】

実習期間中、同じ在宅患者を複数回担当し、患者に寄り添い会話し、患者背景がわかり、それらのことも考慮しながら、患者にとって最適な治療を考える重要性を学ぶことができている。また、薬物療法だけでなく、多職種と連携することもできた。

【キーワード】実務実習、在宅医療、地域ケア、多職種連携、訪問薬剤管理指導